

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立島根小学校 校長 世取山 哲哉

1 学校教育目標

- ①考える子：様々な問題を解決するために多様な考えをもてる子
 ②心豊かな子：よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
 ③たくましい子：困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かい努力し続ける心と体をもつ子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
 ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
 ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
 ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12766 冊（蔵書基準冊数 9960 冊）／ 蔵書率 128.2%（元年度末 119.0%）									
	② 新規購入図書 882 冊 ／ 廃棄図書 426 冊 ／ 増減冊数 456 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	1%	6.9%	5%	12.2%	4.2%	3.7%	6.5%	2%	56.5%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、月～金の中休み・昼休み									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 46.1 冊（前々年度末： 62 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 75.9%（前々年度末： 100%）									

（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 冊（蔵書基準冊数 冊）／ 蔵書率 %									
	② 新規購入図書 882 冊 ／ 廃棄図書 426 冊 ／ 増減冊数 456 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 冊（前年度末： 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 %（前年度末： %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。		① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。
② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。		② 読書旬間等を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。
③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
目標達成状況		
①		
②		
③		

第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	
① 学校図書館の利用の仕方を守りながら、自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。	達成基準 ① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間等を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。
目標達成状況	
① ② ③	
第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	
① 学校図書館の利用の仕方を守りながら、色々な読み物に興味を持ち読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。	達成基準 ① 読書旬間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ② 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
目標達成状況	
① ② ③	
第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	
① 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。 ② 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ③ 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。	達成基準 ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%以上
目標達成状況	
① ② ③	
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。

今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。 ② 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ③ 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が20%以上

目標達成状況	
① ② ③	

第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。 ② 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ③ 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が30%以上

目標達成状況	
① ② ③	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 新規購入図書を受け入れ、登録作業を前期中に完了する。 ② 委員会活動の一環として、教職員や児童のおすすめの本を掲示し紹介する。 ③ 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。	
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 学校図書館を使った授業での調べ学習や、調べる学習コンクールに必要な教材・資料について、積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ 老朽化している学級文庫の本を、順次きれいなものに入れかえ、児童が興味を示し手に取るようにしてく。	
【その他】 ① 長期休業中の貸し出し冊数を一人5冊までを可とする。 ② 夏休み中の7月最終日に、学校図書館を児童に開放し貸し出し日とする。また、調べる学習コンクール参加児童の相談会を実施する	

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）